

# 大分県商工観光労働部とソフトバンク株式会社との連携と協働に関する協定の成果について

令和6年10月7日



大分県商工観光労働部とソフトバンク株式会社は、「大分県商工観光労働部とソフトバンク株式会社との連携と協働に関する協定」を締結して1年が経過しました。締結以降に蓄積してきた成果を踏まえ、今後もより一層大分県におけるDXを推進してまいります。

## 1. これまでの成果

大分県商工観光労働部とソフトバンク株式会社の連携協定による成果は下表のとおり。

連携・協働分野	概要
(1) スマホ教室などの実施及び個別の相談会に関する事	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者中心にスマホ教室の実施</li><li>・デジタル活用支援員のスキルアップ研修の実施</li><li>・マルチタスク車両による移動スマホ教室の実施</li></ul>
(2) 5Gなどの通信技術を活用した地域課題解決及び利活用促進に関する事	<ul style="list-style-type: none"><li>・大分県内自治体と連携し、電波不良地域における衛生通信サービスの実証</li></ul>
(3) その他地域社会の活性化及び県民サービス向上に関する事	<ul style="list-style-type: none"><li>・立命館アジア太平洋大学における論文共有の安全なプラットフォームの実証</li></ul> ※別紙

# 大分県商工観光労働部とソフトバンク株式会社との連携と協働に関する協定の成果について

## 2. プライベートブロックチェーン技術※を用いた論文共有プラットフォーム 立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ観光学部（須藤智徳教授）

### 課題と目標 **安心して論文公開、利活用できる論文共有の仕組みを作る**



学生側

- ・参考になる論文をどうやって探す？
- ・類似の研究をしている人探せないかな？
- ・企業とコラボして研究したい
- ・誰かにアイデアを盗まれないかしら
- ・誰にでも公開するのは心配…

企業/OB

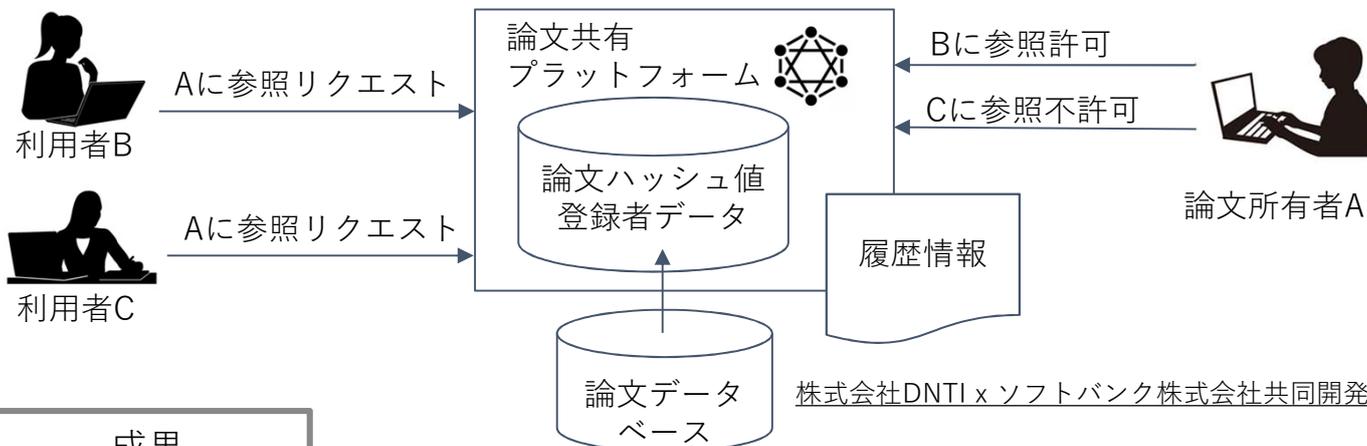


- ・学生の研究や興味分野を知る方法がない…
- ・自分の研究成果を広く活用してほしい！
- ・学生とコラボして研究したい！
- ・本当に大学関係者なのかな…
- ・Originなのかな…

### 検証目的と内容

※ブロックチェーンは、データを安全に記録するための技術です。パブリックブロックチェーンは、ビットコインのように、誰でもデータのやりとりや確認が可能な仕組みですが、プライベートブロックチェーンは、大学のように特定の人たちだけがアクセスできるシステムです。

論文（学術データ）について、「①所有者がアクセスについて制御することを可能とし、②トレーサビリティ（追跡可能性）を実施、履歴公開することにより、データの秘匿性を担保しながら利活用を促進できること」を体験・検証する



### 成果

- 論文の所有者が公開可否を制御、履歴が公開されることによりOriginを担保できる
- 履歴情報を検索システムに組み入れることにより、類似の研究者のサーチも含めた効率的かつ体系的な論文検索システムを確立できる

### 3. お問い合わせ



大分県商工観光労働部 DX推進課  
担当：山村、高橋  
電話：097-506-2477  
a14280@pref.oita.lg.jp



ソフトバンク株式会社  
担当：近藤知子、向山 裕一郎、堀井 弘  
tomoko.kondo@g.softbank.co.jp  
yuichiro.mukaiyama@g.softbank.co.jp  
hiroshi.horii@g.softbank.co.jp